

## 千里ライフサイエンス技術講習会 第49回

### 「組み換え蛋白質生産のための細胞培養と精製技術」

日時：平成20年11月17日（月）

9：00～17：30

場所：午前：千里ライフサイエンスセンタービル9階（903—905号室にて講演）

午後：和研薬株式会社・大阪センター（大阪府箕面市船場東1—12—8）

ねらい：大腸菌を用いた組み換え発現によるタンパク質の生産は、構造や機能解析のために無くてはならない技術だが、いわゆる難発現性タンパク質やヒトタンパク質のなかには高等生物の発現系の採用を要求するものが多い。しかし高等生物の発現系を用いたタンパク質生産は、コスト、時間、ノウハウの面で初めての研究者には敷居の高いものとなっている。本講習会では、高等生物（動物および昆虫）発現系を用いた生産と精製に関する講義と、それらを行う際に重要となる培養技術についての実地講習を中心に、大学や企業でのラボスケールのタンパク質生産力を高めたい研究者の役に立つ情報を提供いたします。

コーディネータ：高木淳一 大阪大学蛋白質研究所 教授

プログラム：

講演（午前）：

9：00 森 肇（京都工業繊維大）：バキュロ昆虫細胞系によるタンパク質発現

9：45 前伸勝美（九大生体防医研）：カイコ成虫を使った構造解析品質の蛋白質生産

10：30 加藤博章（京大薬）：動物細胞一過性発現系を用いた組み換え蛋白質の迅速・大量生産

11：15 高木淳一（阪大蛋白研）：動物細胞安定発現株の作製、培養と精製技術

昼食：12：00～13：30

実習（午後）：技術解説と実技演習（13：30より60分間ずつの実習を4つ行います）

実習1：バキュロウイルスを用いたタンパク質発現と大量培養

実習2：バイオリクターおよびBelloCellシステムを用いた動物細胞の生産培養

実習3：ファーメンターを用いた大腸菌の高密度培養

実習4：アフィニティータグ抗体カラムを用いた蛋白質精製

定員：午前：60名、午後：15名

参加費：1日参加：5,000円、午前のみ参加：3,000円

参加者資格：細胞培養・タンパク質発現に関する基礎知識を有していること。

申込方法：参加申込みは以下の手順にしたがって行ってください。

①氏名、勤務先、所属、役職名、〒、所在地、電話、FAX番号を明記の上、郵便、FAXまたはE-mailで下記宛お申し込み下さい。1日参加か午前だけの参加かを明示して下さい。

②事務局より受付の通知を返送いたしますので、そこに記載した振込先口座に参加費をお振込みください。

③入金を確認後、通常1週間以内に領収書兼参加証をお届けいたします。

申込締切：平成20年10月24日（財団必着）但し、定員を超過した場合は参加者の調整を行う場合があります。

主催：財団法人千里ライフサイエンス振興財団協賛：和研薬株式会社

申込先：財団法人千里ライフサイエンス振興財団技術講習会 G49 係

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町



## うま味研究助成公募のご案内

うま味研究会は、“うま味”の科学的研究に対して助成を行います。

### 研究分野

- ◇食品科学，調理科学，生理学，生化学，栄養学，心理学 等

### 研究の対象

下記条件を備えた研究

- ◇研究テーマが“うま味”“食”“おいしさ”に関するもの。
- ◇研究の視点，方法が独創的なものであり，その成果が「うま味の本质」「おいしさにおけるうま味の役割」という課題に対し新しい科学的知見を加え，食に関する学際的研究の発展に貢献することが期待できるもの。

### 研究期間

平成 21 年 1 月 1 日から 2 年間。

### 助成額

一件あたり総額 100 万円程度を基準としますが，最終的には研究の具体的内容，規模等に応じて決定します。

### 応募方法

#### ◇申込

指定の申請書に必要事項を記入の上，うま味研究会事務局に送付。

#### ◇申請書入手方法

当研究会ホームページ <http://www.srut.org> からダウンロード，又は下記事務局宛てご請求下さい。

#### ◇締め切り

平成 20 年 10 月 31 日（金）

#### ◇選考方法，選考結果の報告

うま味研究会の学識経験者による選考委員会で厳正に審査し決定します。（予定 11 月下旬）  
選考結果は各応募者に直接通知します。

#### 報告

研究助成開始 1 年後に成果発表会（非公開）で経過報告，研究期間終了後に成果発表会で最終報告。報告書をうま味研究会事務局に提出。

#### 出版

研究が完了した時点で学術誌に投稿して頂きます。出版の際は，謝辞に「うま味研究会（Society for Research on Umami Taste）」の名称を入れてください。

#### お問合せ先

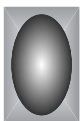
〒104-8315 東京都中央区京橋 1-15-1

うま味研究会事務局

TEL：03-5250-8184 FAX：03-5250-8403

E-mail：umami@srut.org

URL：http://www.srut.org



## トランスポーターワークショップ IN 鶴岡

日 時：2008年11月15日(土)～16日(日)  
 会 場：東北公益大ホール(山形県鶴岡市)  
 組織委員長：阿部高明(東北大院・医工学研究科)  
 事務局長：曾我朋義(慶應大・先端生命科学研)  
 主 催：トランスポーター研究会  
 (<http://www.jtra.jp/>)  
 共 催：慶應義塾大学先端生命科学研究所  
 後 援：(社)日本薬理学会, (社)日本薬学会  
 主 題：「トランスポーター研究のパラダイムシフト：今後の方向性の模索と新たな病態解析法の融合を目指して」

### プログラム：

- ☆特別講演, 岡山大院・医歯薬学総合研究科  
森山芳則
- ☆シンポジウム
  1. トランスポーター研究へのメタボローム解析の適用
  2. 遺伝子改変生物を用いたトランスポーター研究
- ☆特別企画, メタボロームキャンパス見学
- ☆ポスター発表(一般発表形式は, すべてポスターです)

演題応募締切：2008年10月15日(水)

動物・植物・微生物を問わず, 膜を介する物質輸送担体(チャンネル含む)やそれに関連する分子についての演題を募集します. 詳細はトランスポーターワークショップ IN 鶴岡のホームページ(<http://www.iab.keio.ac.jp/transporter2008/index.html>)をご覧ください.

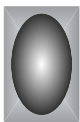
参加費：学生(院生含む)3,000円, 一般5,000円  
 JTRA 幹事・顧問・世話人6,000円(含む：11/16昼食代)

参加申込：参加には事前登録が必要です。(8/1より受付開始)

自由闊達な会にするため, 緊苦しくないカジュアルな服装(ノーネクタイ)でお願いします. 詳細は上記の本ワークショップのホームページをご覧ください.

問い合わせ先：

トランスポーターワークショップ鶴岡事務局  
 Tel：0235-29-0800 担当：五十嵐  
 Fax：0235-29-0809  
 E-mail：event-jimu@iab.keio.ac.jp



## 第3回日本情動研究会

下記の通り, 第3回日本情動研究会を開催いたします.

日 時：平成20年10月19日  
 場 所：名古屋市立大学病院 3階ホール

連絡先：富山大学医学部行動科学

Tel：074-434-7480  
 FAX：076-434-5180  
 E-mail：fukuda@las.u-toyama.ac.jp